

水稲緊急特報

平成27年7月23日
松任市農業協同組合
白山石川宮農推進協議会

夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫な稲に仕上げるぜ!!

- 追加穂肥で白未熟粒発生防止、品質アップ ^{up}
- 水分補給で登熟歩合アップ ^{up}
- ★ 2つの効果で収量アップ ^{up}

トリヰル
up

1. コシヒカリ追加穂肥の実施－暑い夏、サッと一振り栄養補給！

施用時期：出穂5日前（走り穂が見える頃）まで
施用量：松任穂波7～8kg/10a

※出穂後の施用は玄米タンパク含有率を高めるので、絶対に施用しない。
※葉色が濃く（葉色板値4.5以上）、葉が乱れている場合は施用しない。

2. 稲に「こまめな水分補給」で熱中症予防を！

- ① 出穂前後は稲からの水分蒸散量が増えるので、一時的に湛水し不稔籾を防止する。
- ② 登熟期間中は、間断通水を基本に根の活力維持を図る。但し、晴天が続く場合は毎日でも通水する。夜間通水は地温を下げる効果が高い。
- ③ なお、高温時の深水は、根を傷めることになるので避ける。



台風など強風の被害軽減対策

- ① 台風通過前までに、圃場へ入水し高温による稲体の消耗、強風による不稔発生と籾の損傷を軽減する。
- ② 台風通過後は、降雨の状況に応じ、入排水を行なう。
- ③ 台風通過後は、茎葉の損傷により根の老化が進むので、毎日通水するなど間断通水の間隔を短くする。また、可能であれば夜間通水を行なうなどきめ細かな水管理を実施する。
※フェーンなど高温が予想される場合も①の対応を行う。

【参考】北陸地方1か月予報（7月16日新潟地方气象台発表、予報期間：7月18日から8月17日）

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い確率50%、降水量は少ない確率50%、日照時間は多い確率50%です。週別の気温は、1週目・2週目は高い確率50%です。

北陸地方は7月21日ごろに梅雨明け発表。（平年比3日早、昨年並）。